



クラスの様子【12月号】



ひよこ・りすぐみ今月の目標

季節ならではの行事、イベントや活動を経験し、その楽しさを知る中で、様々なことを感じ、考えていく。

11月にはひよこ・りすぐみに4人のお友達が仲間入りし、クラスの人数はひよこぐみ11人、りすぐみ21人の合計32人となりました。お部屋も賑やかになり、様々な月齢の子が交わり合い、子ども達同士での刺激もより大きくなったように感じられます。

また、子どもの人数の増加により、職員も増員となり、今毎日お部屋には（日替わりの職員もおりますが）常に8人の職員がはいっています。関わる大人が増えたこともまた、子ども達にとっては良い刺激となり、甘えられる対象が増えたり、他者と関わる力を伸ばす良い機会になっているようにも感じられます。

そして、職員が増えたことにより、活動も4つのグループに分かれることができるようになったり、（大人の数が増えることで）大人数と一緒に活動することもできるようになったりと活動に幅を持たせることもできるようになってきました。

活動の前、“座っている状態で自分の名前が呼ばれたら職員のところへ集まる”という動きも最初はなかなか難しい状態だったのですが、2週間程行なってみると、最初とは比べ物にならないくらい上手にできるようになり、子ども達の吸収力の高さ、発達の速さに本当に驚かされています。

なかなか新しく入った全職員が保護者の皆様に直接挨拶することが難しい状態で申し訳ありませんが、職員一丸となって子ども達に最善の保育、生活を提供できるよう力を尽くしていきたいと思いますので、これからも園の活動へのご理解、ご協力をよろしくお願いします。（安田）



うさぎ組今月の目標

寒さに負けないようにしっかり食べ、手洗いうがいをして強い身体作りをする。

寒さも少しずつ厳しくなり、冬の訪れを感じる頃となりました。先日までまだ緑色でいっぱいだった葉っぱが日に日に黄色や赤色に変わりはじめていく様子をお散歩などの活動でよく観察しました。紅葉という言葉を知り、身のまわりにある環境に興味を持ったり園庭に落ちている葉っぱを見て”おそうじしなくちゃね”と身のまわりを整える言葉が子どもたちから出たことにすごく成長を感じました。また、散歩で見つけた球根を”育ててみよう”と現在、観察中です。いろいろな成長が楽しみになっています。

コーナーの開け閉めを（○ ×）することで、自分たちがどこで遊びたいか何をしたいのかを自己決定することや、閉まっているから（×）こっちで遊ぼうなど、小さなルールを守ることも学んでいます。時には、子ども同士で教えあったり相談したりする姿も見られ、子ども同士の関わりがより深まり人と関わる力が育つています。そんな毎日を子どもたちと楽しく過ごし、あっという間に今年も残りわずかとなりました。これからもいろいろな発見をしながら元気いっぱいに過ごしていきたいと思います。（矢下）



幼児棟今月の目標

生活の中で必要なことや季節の変化などに気づき、健康に過ごせるようにする。

今年も残すところ1か月を切りました。元気に1年を締めくくれるよう体調に十分留意しながら過ごしていきたいと思えます。

今の季節、園庭には色とりどりの葉っぱやくぬぎの木の実が落ちています。園庭に出ると嬉しそうにくぬぎの木の下へ走っていく子ども達。その姿を見ていると、ビニール袋いっぱいにくぬぎの木の実を拾う子、くぬぎの木の実の帽子だけを集めて砂場に運んでいる子、実と帽子が引っ付いているものを根気よく探し続けている子・・・このように木の实拾いひとつをとっても十人十色の方法で楽しんでいることに気付かされます。子ども達が自分自身でやりたいことを考え、取り組んでいる様子を見ていると『何をしているのかな?』と思えるようなことでもしばらくの間見守っていると、別の何かに見立てていたり宝物のように大切に扱っていたりすることに気づき、大人がぱっと見ただけでは分からない子ども達の世界が見えてきます。これからも子ども達が見ている世界に寄り添い、時にはその世界にお邪魔させてもらいながら様々な経験が出来るよう保育していきたいと思えます。

また、室内では異年齢児の交流がより活発になってきています。ゲームコーナーでは年長さんが年中・年少さんに将棋やオセロのルールを丁寧に教えてくれる姿、年長さんが塗り絵や折り紙をやっているのを見て「ぼくも、わたしもやりたい!! いーれーてー!」とお願いしている年中・年少さん、それを優しく受け入れてくれる年長さんの姿が見られます。お互いの思いがすれ違いケンカになってしまうこともありますが《保育士の力を借りることなく自分たちで解決して遊びを再開する》という光景も少しずつ増えてきており、一人ひとりの成長を感じる毎日です。

お片付けがまだまだ苦手だったり、集中してお話を聞くのが難しかったり、どうしてもお部屋を走り回りたくなってしまいう年齢の子ども達ですが「今はお片付けしやな。なくなったらあそべなくなるよ。」「お給食の準備始まるから座ろう!」「静かにしやんと聞こえやんよー!」など、少しずつではありますが年齢関係なく子ども達同士で伝え合い、気付くことが出来るようになってきました。

嬉しかったこと・楽しかったこと・困ったこと・嫌だったこと。様々な出来事を自分の言葉で保育士に伝えに来てくれる子ども達。今月も「せんせい!あのね!!」の言葉にしっかりと耳を傾けていきたいと思えます。(一見)

